

船形コロニー整備事業に係る論点整理表

平成28年8月25日（木）

震災復興・企画部 震災復興政策課

## 論点整理表(部会審議内容)

### 【船形コロニー整備事業】

#### 〈審議〉

| 部会審議内容(第1回部会:平成28年7月20日)   |   |
|--|---|
| 委員からの質問・意見   | 県の回答・説明   |
| <b>I 事業の概要, II 事業内容, III 事業費</b>   |   |
| ①建替えに当たって、施設職員の労働環境の整備については配慮しているのか。【宮原委員】   | 職員が運営しやすく労力縮減につながるような設備・建物にするということも重視している。  |
| ②施設職員の人員の確保、教育体制等はどうになっているのか。【福田委員】  | 指定管理者である宮城県社会福祉協議会が運営しており、国の基準に適合する職員配置数を確保している。今回の整備により、研修機能を付加し、民間施設の職員も受け入れられるようにしていきたい。 |
| <b>IV 評価結果 1. 事業が社会経済情勢から見て必要であるかどうか。(規則第1号関連)</b>                                     |   |
| ①今後は人口減少や税収減少の時代となるので、個別事業ごとに妥当性を判断するのではなく、県有施設全体の将来計画を作り、建替等について検討していくことが必要。【平野委員】    | —   |
| ②比較的軽度な就労継続支援B型の通所者に関する部分も、今回の整備には含まれているのか。また、民間施設でも受入可能だと思われるが、当該施設で受け入れている理由は。【京谷委員】 | 含まれている。<br>B型の利用者は当該施設から地域へ移行した方であり、馴染みのある当該施設で日中活動を行うことを希望している。                            |
| ③待機者が今後増えていく見込みの中で、待機者等相当数20室で対応は可能か。【橋本委員】  | 当該施設の待機者数は20人弱となっている。<br>なお、重度障害者の人数は増加傾向にあるが、今後は人口減少により、ある時点で頭打ちになると想定している。                |
| ④人口の将来予測及び重度障害者の増加が頭打ちになる時点を示してほしい。【風間委員】  | 後日資料を提出する。<br>〔・人口予測：国立社会保障・人口問題予測研究所のデータにより予測<br>・障害者人口：障害者割合の過去の傾向により20年後までを予測〕           |
| ⑤今後の民間施設の利用状況並びに他の県立施設の利用状況及び改修計画などを踏まえた上で、当該事業を進めていただきたい。【風間委員】                       | —   |
| <b>IV 評価結果 2. 県が事業主体であることが適切であるかどうか。(規則第2号関連)</b>                                      |   |
| —  |   |
| <b>IV 評価結果 3. 事業を行う時期が社会経済情勢から見て適当であるかどうか。(規則第3号関連)</b>                                |   |
| —  |   |

| 部会審議内容(第1回部会:平成28年7月20日)   |   |
|--|---|
| 委員からの質問・意見   | 県の回答・説明   |
| IV評価結果 4. 事業の手法が適切であるかどうか。(規則第4号関連)  |   |
| —  |   |
| IV評価結果 5. 事業の実施場所が適切であるかどうか。(規則第5号関連)  |   |
| —  |   |
| IV評価結果 6. 事業が社会経済情勢から見て効果的であるかどうか。(規則第6号関連)  |   |
| —  |   |
| IV評価結果 7. 事業の実施に伴う環境への影響が少ないかどうか。(規則第7号関連)   |   |
| —  |   |
| IV評価結果 8. 想定される事業リスク及び当該リスクへの対応策は十分か。  |   |
| ①建替予定施設は、災害発生時に、被災した外部からの障害者を受け入れるスペースは確保されているか。<br>また、東日本大震災の時は、外部から障害者の受入れを行ったか。【佐藤委員】   | 短期入所の居室数を十分に確保する予定で、災害時の受入れは可能と考えている。<br>大震災の際は、石巻市と仙台市宮城野区から各1人計2人の避難を受け入れていた。   |
| IV評価結果 9. 事業の経費が適切であるかどうか。(規則第8号関連)  |   |
| ①建替予定施設について、維持管理を行う上で修繕・補修費用を抑えるための検討を行っているか。【橋本委員・奥村部会長】  | 建替予定施設の利用は40年を想定しているが、設計の段階でさらに長寿命化が図れるかどうか考えていきたい。   |
| ②-1 建替予定施設は、RC造(鉄筋コンクリート造)が前提となっているが、イニシャルコストが安くメンテナンスがしやすい木造は検討しているか。<br>②-2 調書57頁にある重要度係数1.25はオーバースペックではないか。民間福祉施設程度の性能にすれば、コストが下がるのではないか。【平野委員】 | ②-1 既存施設と同じRC造をベースに最大の費用で見積っているが、設計の段階で構造及びコスト縮減について検討する。<br>②-2 災害発生時に、在宅の障害者又は民間福祉施設で被災し他施設へ移らなければならない障害者の福祉避難所として使用するため十分な耐震性を確保する必要があるが、設計の段階で、より合理性のある構造計画とコスト低減について総合的に検討したい。 |
| ③例えば、超高断熱などの最新技術の導入による維持費の軽減について検討願いたい。【平野委員】  | —   |

部会審議内容(第1回部会:平成28年7月20日)

委員からの質問・意見

県の回答・説明

<部会での審議論点まとめ:奥村部会長>

- ・施設職員への配慮について、より詳しく言及すべき。
- ・このような施設や、もう少し軽度な方が入所している施設などの入所者について、全体的な地域移行状況など長期的な動向の把握も必要。
- ・施設の建設について、ただ基準とおりに作るのではなく、今後の維持費を考慮した内容で設計するという考え方も必要。
- ・現段階での評価においては、最低限必要なものは何かや、まずこの方向で事業実施に踏み出すべきかどうかの議論を中心にとしたい。
- ・追加の資料等があれば提出願いたい。

<現地調査>

| 現地調査 質問・意見等 (平成28年8月9日)  |   |
|--|---|
| 委員からの質問・意見   | 県の回答・説明   |
| <現地調査>   |   |
| ①今回の建替え・整備によって、施設のどのような所が質的に改善(レベルアップ)されるかを具体的に示して欲しい【奥村部会長】                   | 次回部会においてお示ししたい。                                       |
| ②「とがくら園」だけ他の施設から離れているが、役割について整理すべきでは？【奥村部会長】                                   | 事業者からのプロポーザルの段階で各施設の役割等も含めた全体像を描くことを検討している。           |
| ③職員について、有資格者に限定せずに採用しているとのことだったが、どのような姿が望ましいのか具体的に示すなどして長期的な視点で育成すべきでは。【奥村部会長】 | OJTなどによりケア技術の向上を図っている。また、ケアのあり方について、ワーキンググループで検討中である。 |
| ④現在の施設(各園)においてコミュニティが形成されているようなので、建替え・移動に当たっては、配慮して欲しい。【千葉委員】                  | 整備後の各建物(園)への移転に当たっては、コミュニティや各個人の特性等に配慮したい。            |
| ⑤地域社会との連携を推進してきたと思うが、今回のような事件を受け、防犯についても一層留意すべきではないか。【奥村部会長】                   | 防犯については、大和警察署の協力を得て、地域とも協働して防犯訓練を行っている。               |